

## 第1分科会

定員：135名

# 産業カウンセラーの 活動の深化と広がりを目指して

「産業界、とりわけ中小企業にどう浸透し、どのような支援活動を行うか」は、産業カウンセラーの大きな課題の一つです。この課題に取り組むには、激変する社会環境の中で、中小企業がどのような状況にあるか、私たちは何を期待されているか、今一度、再確認することが必要です。

そこで第1分科会では、中小企業家同友会、県中央会の代表の方から経営者の立場で現在の産業現場や働く人の状況などをお話いただき、産業カウンセラーへの期待を感じる場をつくります。また、産業カウンセラーの立場から各支部の代表者より、現在の状況や今後の支援活動に関する提言を発表していただきます。

午後は、河野慶三先生に産業医の立場で予防の視点、発生した問題に対する取り組み姿勢などを具体的な事例を交えながらお話しいたします。その後、参加者の皆さんでグループ討議し、これからの時代にあふさわしい産業カウンセラーの役割について問題提起の場としていただきます。

この機会に、産業カウンセラーとしての自分の行動を原点に戻って考えてみませんか。

●コーディネーター…島仲 ルミ子（協会副会長）

## 第2分科会

定員：120名

# これからの協会が目指すEAP

健康で快適な職場づくりは、働く人びとの活性化のみならず、組織の生産性などの観点からも重要かつ喫緊の課題となっています。企業等からも単一サービスだけでなく複合サービスを要請される事業が多くなっています。

協会でもH24年度事業計画の中で、EAP取り組みモデル支部を3支部選定し、社会の情勢に適応すべく、協会らしいサービスの量・質をどう拡充するかに取り組んでいるところです。当日は、モデル支部である神奈川支部、関西支部、四国支部から具体的取り組みの経過と成功例の発表があります。

JAIICO版職場健康診断システム（仮称）は、三本柱の領域（キャリア関係も）を包含し、職務から職場、組織レベルまでを網羅しており、健康・快適職場づくりに貢献することを目指しています。

EAPサービスを利用している企業からの声も参考に、具体的な活用に向け討議を深める場にしたいと考えています。

●コーディネーター…山本 清徳（協会常務理事）

## 第3分科会

定員：500名

# キャリア支援の実際 ～キャリアカウンセリングライブ～

変化の多い現代の労働環境では、変化への柔軟な対応が労働者に求められ、産業カウンセラーの活動領域の一つである「キャリア開発への援助」の重要性が認識されています。しかし、なかなかキャリア・ガイダンスのプロセスにおいて行われるキャリア・カウンセリングの実際を見る機会がありません。

そこで午前中は、独立行政法人労働政策研究・研修機構労働大学校キャリア支援部門主任研究員の榎野潤氏にライブでキャリア・カウンセリングの新しいやり方を示して頂きます。榎野氏は研究者の立場から、キャリア構築理論を提唱するサビカス博士のキャリア・ストーリー・インタビューという手法を見せて下さいます。この手法を活用して、クライアントが過去の経験と現在のつながりを見出し、明るい未来の展望を持てるよう支援します。

また、午後は会員の皆さんのキャリア・カウンセリング（ライブ）です。日本のキャリアの第一人者である木村周先生からその場でコメントを頂きます。感動が待ち受ける第3分科会です。

●コーディネーター：木村 周氏（日本産業カウンセリング学会特別顧問）

## 第4分科会

定員：72名

# A D Rで社会に貢献を！

カウンセリングを求めてやって来る方の多くが、何らかのコンフリクト（もめ事）を抱えています。そういった意味では、現代はコンフリクトの時代である、といっても過言ではありません。

私たちは誰しも日々を幸せに過ごしたいと願っていますが、わが身に降りかかる様々なもめ事によって、こうした願いが遠のくばかりか時として打ち砕かれてしまう場合もあります。

私たち産業カウンセラーは、人々が幸せな生活を送れるように支援することで社会に貢献したいと願っています。そのためには、カウンセリング技術に加えて、もめ事の当事者の関係を巧く調整する「関係調整技術」を身につけることが、今、強く求められています。

今回の分科会の中で、産業カウンセラーとしてのさらなるパワーアップにつながるようなヒントやスキル等を提供できれば、と願っています。また、ADRが協会の社会貢献活動の柱として定着していくための取り組みについて、皆さんとともに考えたいと思います。

●コーディネーター…午前：安藤 一重（協会会長） 司会：小山 一郎（本部ADRセンター事務局長）  
午後：上山 寛光（関西支部ADRセンター事務局長）

## 第5分科会

定員：108名

無料公開市民講座

# 産業カウンセラーと地域社会

### 第1部 地域社会での活動事例／第2部 「JAICO 聴き方教室」

地域社会も産業カウンセラーの大切な活動の場のひとつです。そこで第5分科会では、一般市民の方を対象にした公開市民講座とし、地域と産業カウンセラーの関わりを検討してまいります。第1部では、最初にシルバー人材センターや傾聴ボランティア団体等、地域に根を張る団体・組織の方々に、産業カウンセラーと共にどのような活動をしているのか、発表していただきます。その後、全国の産業カウンセラーに地域での活動状況を発表していただきます。

さらに「産業カウンセラーは、地域社会で今後どのような活動を展開するか」についてみなさんと討議し、今後の活動の指針としたいと思います。

午後からの第2部では、「JAICO聴き方教室」の実践を行います。広く市民の方にも傾聴を理解していただき、実際に体験する場とします。指導に当たるのは、全国の養成講座の実技指導者です。

●コーディネーター…田中 節子（協会理事）

## 第6分科会

定員：48名

# みんなの発表会

私たち産業カウンセラーは、3つの活動領域を視野に入れながら、様々な分野で活動を展開しています。その活動内容は、個々人の特性や環境や役割などによってアプローチの仕方も実践の方法も違ってきます。

第6分科会では、違いからの学びを重視したいと考えています。様々なジャンルからの発表を元に、産業カウンセラーの活動領域の広がりや深化について参加者が共に考え、共に学び合い、今後の活動のヒントを交流し合うことを狙いとしています。

テーマや発表形態に縛られることなく、自由な立場や方法での発表の場になればと考えています。個人及びグループの研究の成果を発表したい方、発表したいテーマがどの分科会にも当てはまらない方、研究や実践ではないが、みんなに発信したい方、異文化からのメッセージなど、多彩な発表が期待されます。

●コーディネーター…和田 幸子（協会常務理事）

## 第7分科会

定員：500名

# 発達障がい者・新型うつ の理解と支援

第1部 発達障がい者の理解と具体的な対応／第2部 「新型うつ」の理解と関わり方・職場復帰への支援

今、企業では長期に休む労働者も多く、メンタルヘルス不調者への対応に苦慮しています。また発達障がい者への関わり方について悩む現場が多いのも現状です。発達障がい者が職場に適應できるように、産業カウンセラーとしてきめ細かく知識と実行力をもって対応していきたいものです。

第7分科会の第1部では、発達障がいについての理解を深め、発達障がい者が職場で適應できるようにはどう関わっていったらいいのかを考えます。講師は、臨床心理士の谷原弘之氏です。

第2部は「新型うつ」といわれる新しいタイプのうつ病について精神科産業医の吉野聡氏のご講義を予定しています。また復職支援については実際の事例などを紹介していただき、具体的にどう対応したらいいのかを考えていきます。実際の現場で活用できることが目的です。質疑応答の時間も十分にとっておりますので、日頃の疑問・質問も多数お持ち下さい。

成功事例からヒントを得て、現場で活かせる研修会にしたいと思います。

●コーディネーター…鈴木 越子（協会理事）

## 第8分科会

定員：48名

# 学校問題研究会

文部科学省は今春から「教職員のメンタルヘルス検討会議」を開催してきましたが、このほど、その中間報告が発表されました。ここでは、予防的取り組みの一つとして「相談体制等の充実」を挙げています。昨年の千葉大会での学校分科会では、先進的な取り組みを進めている埼玉県川口市教育委員会の経験を学びましたが、当協会のこれからの活動は、教職員のメンタルヘルス支援を具体化してゆくことが目標です。そのためには、市町村教育委員会など自治体との関係および私たちの支援体制をどのように構築するかが課題です。中間報告では、教職員OBからの支援を得ることも課題だと提起しています。

そこで、今分科会では、教職員の現役またはOBを中心とする分科会とし、これからの学校教職員支援の活動を具体化することを中心に論議します。教職員支援の経験報告、またはこの活動を進めるために応募していただいた提言について検討してまいります。

●コーディネーター…原 康長（協会副会長）